
勇者康晴その後の冒険

とろろグミ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

勇者康晴その後の冒険

【Nコード】

N5643L

【作者名】

とろろグミ

【あらすじ】

勇者康晴の冒険と勇者磯見の続編です。

康晴が元の世界に戻ってから数年、あのときの魔王に感謝するべく異世界に行くための機械を完成させていた。

「やっと完成した。それじゃいくか」

- - - - -
- - - - - 異世界 - - - - -
- - - - -

「着いた。じゃあ魔王の城に行くか」

5分後：

「このあたりは、懐かしいな・・・」
しばらく行くと...

魔王の城に着いた

- 魔王の城 -

「誰かーいますか？」

「・・・」

「返事がない・・・入ってみるか・・・」

1分後：

魔王の部屋に着いた

康晴は、魔王の部屋の扉を開けた・・・

「しかし、汚い部屋だな。ちゃんと掃除してるのか？」

康晴は、辺りを見回してみた・・・
しかし、誰もいない・・・

「しばらく待つてみるか」

10時間後：

「近くの村に行つてみるか」

- 魔王の城の近くの村 -

たまたま近くにいたお爺さんに、魔王のことを聞いてみた。

「あのー、すみません」

「どうかしましたか？」

「この辺りにいた魔王つてどうなりましたか？」

「魔王？ああ、そう言えばいたな昔」

「昔？今はどうなりましたか？」

「あれ？お前さん知らんのか？」

「何をですか？」

「どうやら本当に知らんみたいだな。魔王は、数年前に勇者一行に倒されたよ」

「本当ですか？」

「本当だ！第一嘘をついて何になるつて言つんだ？」

「そうですね・・・」

「どうした元気のない顔をして」

「それで勇者は今何処にいるか分かりますか？」

「分かん」

「そうですね・・・」

「勇者に会いたいのか？」

「はい」

「それはどうしてだ？」

「理由は言えません」

「そうか、まあ、頑張つて勇者を捜しなさい」

康晴の冒険が再び始まった

そして、康晴が勇者を見つけることはなかった。

何故なら、勇者は元の世界に帰っていたのだ

康晴はそれを知らずに、死ぬまで勇者を捜し続けるのであった。

- E N D -

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5643/>

勇者康晴その後の冒険

2010年10月20日13時35分発行